



## 現在の仕事内容を教えてください！

埼玉県を中心に、東京と群馬でデイサービスセンターの「コンパスワーク」のフランチャイズ展開、訪問看護ステーション、介護タクシー事業の経営をしています。

## 何故独立して今の仕事をしようと思ったのですか？

独立前は、上場フィットネスクラブで役員をしていますが、突然両親がそろって倒れて入院し、その後介護施設を探したのがきっかけでした。長年勤めた上場会社の執行役員を辞めてまで起業するなど、その時は全く想像もしてい

ませんでした。まずは、自分の両親を安心して預けることができる福祉施設を探す為に狂ったように施設見学をたくさんしました。しかし残念ながら自分の両親を安心して預けても良いと思える施設が見当たらなかったのです。預けられないと感じた理由は、私の個人的な価値観だったかもしれないですね。

ただ、多くの施設（もちろん全てではありません）で、人生の大先輩に「ちゃんづけ」、認知症の方を「にちゃん」などと呼んでいるのを目の当たりにして、呼吸ができないくらい目のショックを受けました。シニアに対しての「子ども扱い」「お荷物扱い」を目にして両親をそこに入所させるわけにいかないという思いから「自分で創ろう」という決意したのです。

## 独立する前に何か不安がありましたか？

決して安くはない給料を毎月もらっていたので、それが無くなり、さらに借金を抱えて妻を養えるかどうかという不安が一瞬よぎりました。不安の上に当の両親や家族からの強烈な反対もありました。

しかしメンターからの教訓で「問題が起きた時、本気の人は対策を考え、本気もどきの人はやめたりあきらめたりする為の言い訳を考える。」「起業する時に信号が全て青であることはない。いくつかの信号が赤でも走っているうちに青になる。狙ってから撃つのではなく、撃つから狙うのが起業だ」という言葉に後押しされ起業を決意出来ました。

他人に任せたら後悔する、自分で開業するしかないという思いだけだったと思います。今から思うと、手に入れたばかりの夢のマイホームや愛車をたたく売り、家族の保険まで解約してのスタートでしたのでついてきてくれた妻や子供には本当に感謝しています。

## 現在の仕事での自慢話（最も成果が出たりした話）を教えてください

出店する施設がすべて短期間でキャンセル待ちの人気の店になっていることと離職率の高い介護業界なのにほぼ退職者がいないことが自慢です。

これにはそれぞれ理由があるのですがキャンセル待ちになっている一番大きな理由はコンパスではシニアを高齢者扱いしない点です。高齢者という人が存在するのではなく、今の自分が歳を重ねて高齢者になるのだということに全キャストに共有しているので全て自分事として捉えられます。これが一番大きな理由です。

そして退職者がいない理由は当社は介護の3K（きつい・汚い・危険）ではなく、介護の新・3敬（関心・感謝・肯定）を理念とする社員教育を徹底するとともに、(社)日本ほめる達人協会の「ほめる」教育を共通言語としており、手前みそですが社内の雰囲気は非常に良く、結果的にほとんど退職する人はいません。

介護業界全体を語るほど業界歴が長いわけではないのですが、私が相談を受ける離職が多い会社さんの多くは、社内リーダーの介護職さんへの関心が薄かったり、感謝が足りなかったり、すぐ否定したりというパターンが多いのでそうした部分が最も違うのではないかと私は考えています。

## 現在の仕事での失敗談を教えてください！

訪問看護をスタートしてすぐの頃のことですが、訪問看護師さんとのコミュニケーションの取り方が良くわからず、3人雇った訪問看護師が3人ともたった3か月で辞めてしまったことがあります。

今から反省するとこちら本位の考え方を強要したからなのです。と言いますのも今は全く逆の印象になったのですが、当初看護師さんへの間違った偏見(皆、厳しく人に当たるのが習慣化している)と思い込んでいましたがあつて、こちら本位の「ほめる」を強要したのが失敗でした。そこからほめる達人協会で「人は自分とは絶望的に違う」ということを具体的に学び、こちらの心の中を修正したおかげで自分本位ではなく相手本位の考え方が出来るようになりほとんど退職者はいなくなりました。さらに、最近どういうわけか優しい人ばかり入職してきます(笑)

